

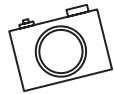
住みよさ実感

響き合う音色で感動を届けたい 「印旛明誠高等学校吹奏楽部」 定期演奏会



広報レポーター
宇野 建夫(小倉台)

県立印旛明誠高校は、平成22年4月、県立印旛高校の移転に伴い、校名を変更し開校した、古くて新しい県立高校です。部活動も活発で、伝統を引き次ぐ陸上部や野球部、県内でも数少ないゴルフ部など、文武両道を目指す生徒たちも多く活躍しています。中でも吹奏楽部は、学校行事や吹奏楽コンクールへの出場、さらには地域のイベントへの参加など、年間を通して数多くの演奏活動を行っています。



▲会場の文化ホールには多くの来場者

去る6月18日に市文化ホールで開催された、8回目を迎える「定期演奏会」を訪れました。当日のプログラムは3部構成で、第一部はディズニーのキャラクターの衣装で「東京ディズニーシーメドレー」などを軽快に演奏、第二部は劇「不思議の国のアリス」、主役のアリスは男子生徒が熱演。第三部は「大いなる約束の地～チングスハーン」など、高度なテクニックが必要な楽曲を多彩な表現で演奏、改めて実力の高さを実感させられました。

「毎日の練習の中で、部員一人一人の思いを一つにして演奏することを心掛けました。多くの人たちに感動を届ける喜びを、後輩たちに伝えていければうれしいです」と、この夏で後輩に道を譲る3年生の部長・中村春南さんは語ってくれました。

若さあふれる吹奏楽の力、ホールに響く力強い音量に元気をもらった取材でした。

ディズニーキャラクターの衣装で演奏



▲息の合った管・弦楽器と打楽器のハーモニー

劇「不思議の国のアリス」はミュージカル仕立てで熱演



今年度の各月の
レポートはこちら▶

